

# 国際オンブズマン協会 倫理規定

## 序文

国際オンブズマン協会（International Ombudsman Association : IOA）は、オンブズマン業務を適切に遂行することに専心する。IOA倫理規定は、会員が組織内オンブズマンとして業務を忠実に実行するための職業上の倫理原則である。

本倫理規定は、オンブズマン業務の伝統と価値に基づき、オンブズマンとしての役割を遂行する際の倫理的行為を促進し、専門家として誠実さを保つことを目的としている。

オンブズマンは誠実であり、品位を持って行動するとともに、所属組織の全メンバーから尊敬され、組織内の慣行、プロセス、方針に関する内容と運営上の手続きの公正性を促進する。

## 倫理原則

### 独立性

オンブズマンは、構成、機能、外観に関して、組織内で最高の独立性を保っている。

### 中立性と公平性

オンブズマンは、職務上中立であることが規定されており、当事者のいずれか一方を支持することなく、公平性を保つ。オンブズマンは利害が衝突する状況には関与しない。

### 機密性（守秘義務）

オンブズマンは支援を求めた相談者の相談内容を極秘に取扱い、相談者が特に許可しない限り、秘密情報を開示しない。この機密性保持の特権に対する唯一の例外は、重大な損害を与える差し迫ったリスクがあると考えられる場合のみである。

### 非公式性

非公式なリソースであるオンブズマンは、伝えられた懸念に関連する公式な審判、または管理手続きには参加しない。